

■黒川良安 蘭方医。金沢に留まりながら全国の名声。坪井信道が“社中第一”、佐久間象山が“斯界の称首”の評。

くろかわりょうあん

杉田玄白没・1817＝ 越中国新川郡黒川村で、漢方医黒川玄竜の長男に生まれる。

水野忠成老中1818＝ 1歳：

・・・・・・1826＝ 9歳：

シボルト事件・1828＝11歳：_シボルト事件の起きた年、西洋医学を学ぼうとする父に連れられ、長崎に留学、

シボルトの通訳を務め西洋医学にも通じていた通詞吉雄権之助を主たる師として勉学、

高島砲術・・1834＝17歳：_留学を終えた父が帰郷するも、長崎に留まり、

滑稽+人情本 1835＝18歳：

・・・・・・1836＝19歳：_大坂適塾に緒方洪庵を訪ね、その勧めで、江戸の蘭学者坪井信道に入門、たちまち塾頭となる。

大塩平八郎乱1837＝20歳：

名医の評判を得た父が富山に移り、藩のお目見え医師に登用される間、

勲進帳初演・1840＝23歳：*金沢まで帰り、加賀藩老青山将監に仕え、藩主以下の診療に当り、病理学に通じて的確な診察をし、

順天堂始・・1843＝26歳：5年前に太平洋で遭難・漂流し、アメリカの捕鯨船に救助され、ハワイ・アラスカなど転々とし、この年、帰還した乗組員を、藩が取調べる際に、外国語の翻訳等で協力、記録が「時規物語」となる。

天保改革終・1844＝27歳：_米沢藩堀内素堂・萩藩青木周弼とともに、シェランの生理学書を翻訳出版。佐久間象山に蘭学を教授し始め、逆に漢学を学ぶ。

阿部正弘首座1845＝28歳：

孝明天皇・・1846＝29歳：*将監の推挙により、加賀藩主前田斉泰の侍医となる。

・・・・・・1848＝31歳：_藩校(壮猶館)で蘭学教授、

国定忠治疎・1850＝33歳：_北陸地方で初めて種痘に成功、

ペリー来航・1853＝36歳：

開国開港・・1854＝37歳：_ (壮猶館) 翻訳方御用に任じられ、

蕃書調所・・1857＝40歳：*名声は全国に聞こえ、藩主に従って江戸に出た際、幕府から蕃書調所の教授手伝を依頼され、

桜田門外変・1860＝43歳：_さらに、教授にすべく、金沢を出るよう要請されるが、病気を理由に固辞、

生麦事件・・1862＝45歳：_金沢の種痘所創設に尽力し頭取、

8月18日政変 1863＝46歳：_藩がイギリス製の汽船を輸入し、軍艦方御用兼務を命じられる。

禁門の変・・1864＝47歳：_藩主に従って上洛した際、佐久間象山が訪ねてきて歓談し、鞍が目立ち過ぎて危ないと忠告したにも関わらず、翌日象山が暗殺され、国家の一大損失と嘆く。

大政奉還・・1867＝50歳：_金沢療養所を創設、

明治維新・・1868＝51歳：_医学校設立の調査のため、長崎に赴く。

初の日刊新聞1870＝53歳：_金沢大手町の津田玄蕃の邸内に、(金沢大学医学部のルーツとなる)医学館を創設、療養所の医学生を転入させるとともに、付属病院を設けて医療に当ることとするが、

廃藩置県・・1871＝54歳：*廃藩置県で、藩主と別れることになるや、医学館主付を辞任。

明治6年政変 1873＝56歳：

_以後、悠悠自適、

・・・・・・1880＝63歳：

明治14年政変1881＝64歳：

内閣発足・・1885＝68歳：_外交官となった息子のいる東京へ移住し同居、

帝国憲法発布1889＝72歳：

帝国議会始・1890＝73歳：_脳溢血で倒れ、没した。